

じろじろ みてね。

しまね美術鑑賞学習セット ワークシート・アートカード

はじめに この学習セットについて

この学習セットは「しまねアートカード」と「ワークシート」の二つからなる教材セットです。

- この二つはバラバラに使っても良いですし、セットで使うことも出来ます。
- この学習セットは主に小中学校で、授業に使われることを想定して作成されています。

「しまねアートカード」について

- このアートカードは島根県立美術館と、島根県立石見美術館のたくさんの収蔵品の中から代表的な64作品を選び作成されたカードです。
- このアートカードを使って様々なゲームをすることができます。それを通して美術作品を見る様々な視点や、よく見る力、発想する力などを身につけることが出来ます。また参加者同士が作品を通して対話することによって、他者の考えや感情を理解し合う機会ともなります。
- このアートカードはハガキ大です。そのため、どこかで絵はがきを買ったなら、アートカードに追加して増やすことができます。そうすることによって、ゲームがもっと豊かになるでしょう。
- 美術館にはこのアートカードの実物があります。展示されていることが多いので、ぜひ見に行きましょう。ただし、全ての作品がいつも展示されているとは限りません。絶対に見たい作品があるときは、事前に調べてから出かけると良いかもしれません。

「ワークシート」について

- このワークシートは「しまねアートカード」とセットで使うことを想定して作成されています。一緒に活用することで学習は深まり、子どもたちが作品についてより具体的に考え、鑑賞の能力をいっそう伸ばすことができます。
- このワークシートは学習指導要領や評価規準をもとに、低学年、中学年、高学年の発達の段階に応じて作成されています。方法を工夫すれば、他の学年や中学校以上で使うこともできます。
- このワークシートは主にグループ学習を想定しています。学級の人数やグループの数に応じてコピーして使ってください。
- このワークシートは図画工作や美術の時間だけでなく、生活科や総合の学習の時間、社会科での調べ学習、外国語の活動において使うことも想定して作成されています。例えば、アートカードの代わりに、校外学習で撮影した写真を用いたり、観察対象とする植物の写真を入れたりすることで様々な学習が展開できます。

ここで紹介しているゲームは、複数のアートカードセットを要するものがほとんどです。必要に応じて貸し出す用意がありますので、お問い合わせ下さい。

島根県立美術館

Tel 0852-55-4700 (代表)

この学習セットを作成するにあたっては、1993年に日本にアートゲームを紹介した藤江充先生の論文を始めとして、アートカードを作成している様々な学校や美術館などの実践を参考にさせていただきました。深く感謝申し上げます。

この学習セットによせて

学校は子どもを育てる場所です。美術館は文化を育てる場所です。2つの場所が協力したとき、素敵な何かを生み出せるのではないかと。本セットはそのような願いで作成されました。

本セットの作成にあたっては、子どもがどう伸びるのか、どのような力をつけるのかを第一に考えました。そのために、紹介するどの活動にもねらいを明記しました。そして、他館の優れた実践を参考にしながら、教室の中で、子どもたち自身が意味を見付け出したり、価値を判断したりできるような方法を考えました。それは学習指導要領が目指す創造的な鑑賞の能力を伸ばすことにつながりましょう。

鑑賞教育には、ギャラリートーク、アートゲームなど様々な方法があります。「何が一番良くて何がダメ」ということはなく、それぞれに長所と短所があります。本セットの長所は、学習者中心の学びが成立しやすいことです。大人が最初から最後まで関わる必要はありません。子ども自身が鑑賞の視点や作品の解釈を深めるようになっていきます。次に、アートカードを取り入れたことです。子どもは自分が遊んだカードの実物を美術館で見つけると「あれだ」と言わずに「ぼくのだ!」と言います。カードを「持つ」、「さわる」ことで、自分と作品を一体化するからです。このようなカードの特性を活かしながら、ワークシートを通して言語活動を充実させることで、学びが確実になるように工夫されています。

ただ、短所を挙げるとすれば、ゲームの勝ち負けやワークシートの完成にこだわりすぎて学習のねらいを見失ってしまうことです。そんなときは、ぜひ本セットのねらいや配慮事項などに立ち返ってください。もう一つは、カードの限界です。存在感や質感は「本物」にかないません。もちろん子どもの学習体験はいつだって「本物」です。もし、可能ならば、ぜひ美術館の「本物」と「本物」の交流をしてほしいと思います。そのときに本セットは最適の援助を果たすでしょう。事前学習に取り入れれば子どもたちの美術鑑賞をより能動的にします。事後に用いられれば、美術館新聞づくりやキッズ学芸員など学習を発展させることができます。

学校も美術館も、ともに学びを提供する貴重な場所です。本セットを通して、学校と美術館が連携し、島根の子どもたちがいっそう豊かな学びができることを願います。

しまねアートカード 作品リスト (島根県立美術館所蔵)

番号	作家名	作品名	制作年	材質、技法	大きさ (cm)
1	河井 寛次郎	灰釉筒描 鳥文扁壺	1952年	陶土、筒描	15.8×31.0×41.0
2	ラファエル・コラン	エリーズ嬢の肖像	1885年	油彩、カンヴァス	130.0×90.5
3	フェルナン・コルモン	海を見る少女	1882年	油彩、カンヴァス	123.0×155.0
4	ポール・シニャック	ロッテルダム、蒸気	1906年	油彩、カンヴァス	73.0×92.0
5	ポール・ゴーギャン	水飼い場	1886年	油彩、カンヴァス	57.5×70.0
6	ギュスターヴ・クールベ	波	1869年	油彩、カンヴァス	66.0×91.2
7	ピエール・ビュヴィ・ド・シャヴァンヌ	聖ジュヌヴィエーヴの幼少期	1875年	油彩、カンヴァス	52.0×102.3
8	クロード・モネ	アヴァルの門	1886年	油彩、カンヴァス	65.0×81.2
9	米原 雲海	竹取翁	1921年	木	41.5×30.5×22.0
10	高村 光太郎	手	1918年	ブロンズ	39.2×28.7×15.2
11	エドワード・マイブリッジ	「アニマルロコモーション」より 図1	1887年	コロタイプ	18.6×39.2
12	エミール=アントワーン・ブールデル	ペネロープ	1912年	ブロンズ	240.0×90.0×70.0
13	川合 玉堂	鶺鴒	1950年	絹本着色	54.6×72.6
14	和田 悠成	雁塔落慶	1970年	紙本着色	164.0×209.5
15	落合 朗風	肥牛・瘦馬図	1921年	絹本着色	各177.5×338.4
16	橋本 明治	鶴と遊ぶ	1969年	紙本着色	230.5×156.1
17	歌川 広重	東海道五拾三次之内 庄野 白雨	1833年頃	横大判錦絵	23.7×36.2
18	作者不明	洛中洛外図屏風 (島根県美本)	1615-1624年	紙本金地着色	各153.5×357.5
19	歌川 広重	東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景	1833年頃	横大判錦絵	23.4×36.8
20	葛飾 北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	1831-1833年頃	横大判錦絵	25.0×36.8
21	葛飾 北斎	百物語 さらやしき	1831-32年頃	縦中判錦絵	26.3×19.0
22	葛飾 北斎	諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝	1833年頃	縦大判錦絵	38.6×26.0
23	伊東 深水	眉墨	1928年	木版、紙	27.0×38.0
24	長谷川 潔	狐と葡萄 (ラ・フォンテーヌ寓話)	1963年	メゾチント、紙	45.4×26.4
25	平塚 運一	雲崗瑞雲 蒙疆	1957年	木版、紙	76.5×120.0
26	織田 一磨	松江大橋吹雪の夜	1931年	石版、紙	38.0×45.6
27	青木 繁	犬	1910年	油彩、カンヴァス	33.0×47.5
28	李 禹煥	From Line	1975年	油彩、カンヴァス	130.0×162.0
29	須田 国太郎	樹間 (隠岐)	1964年	油彩、カンヴァス	50.5×65.2
30	岡 鹿之助	古港	1928年	油彩、カンヴァス	80.4×100.0
31	矢田 清四郎	支那服の少女	1927年	油彩、カンヴァス	144.0×95.8
32	石橋 和訓	美人読詩	1906年	油彩、カンヴァス	99.5×88.3
33	草光 信成	四人の子等	1927年	油彩、カンヴァス	162.1×130.3
34	岸田 劉生	自画像	1914年	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
35	イポリット・バヤール	庭仕事の道具と椅子	1847年頃	カロタイプ・ネガティブ/ ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.6×50.8
36	植田 正治	パパとママとコドモたち	1949年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	23.8×39.9
37	カール・ブロスフェルト	オンダ〜渦巻状の若い複製 「芸術の原型」より	1900-1928年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.0×24.0
38	杵島 隆	老婆像	1950年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	29.5×24.3
39	サンディ・スコグラント	撒き散らされた胚種	1984年	チバクローム・プリント	71.0×84.8
40	ジャック=アンリ・ラルティエグ	ブローニュの森通り、パリ	1911年	ゼラチン・シルヴァー・プリント/ 作家とP.ガスマンによるプリント 1973	29.2×40.4
41	ジュリア・マーガレット・キャメロン	フローレンス	1872年	アルビュメン・プリント	40.6×50.8
42	奈良原 一高	浴場 緑なき島 軍艦島 「人間の土地」より	1954-1957年	ゼラチン・シルヴァー・プリント/ モダン・プリント	35.6×27.9

しまねアートカード 作品リスト (島根県立石見美術館所蔵)

番号	作家名	作品名	制作年	材質、技法	大きさ (cm)
43	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920-1922年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
44	黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
45	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
46	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)／ バルドーとしての私・2	1996年	イルフォクローム(旧名チバクローム) プリント、アクリル加工	120.0×95.0
47	大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
48	草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)	200.0×250.0×250.0
49	ヴェラ・ロトニーナ	ロシア・アヴァンギャルド期の テキスタイル〈海上の艦隊〉	1929-30年	プリント、綿	79.3×74.2
50	榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色	261.0×207.3
51	山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色	212.3×197.8
52	武藤 嘉門	ショーウィンドウ	1937年	絹本着色	240.0×360.0
53	池田 輝方	絵師多賀 朝潮流さる	1919年	絹本着色	右 193.7×394.4 左 193.9×396.0
54	不詳	舞踊図屏風	江戸時代初期	紙本金地着色	149.6×170.0
55	岩佐派	遊楽美人図	江戸時代前期	紙本着色	各93.0×48.0
56	狩野 松栄	益田元祥像	1582-1592年頃	絹本着色	108.4×51.7
57	不詳	人麿図屏風	17-18世紀頃、 江戸時代	紙本金地着色	145.0×355.3
58	等頤	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩	26.3×33.7
59	テオフィル＝アレクサンドル・ スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
60	アンリ・ド・トゥルーズ＝ ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892-93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
61	ウーン工房 (フレール、リックス他)	マイエライにて「女性の生活」より	1916年	木版、紙、手彩色	39.5×29.5
62	シャルル・マルタン	狩りからの帰り「モード・エ・マニエル・ ドージュルドゥイ」より	1913年	ポショワール、紙	27.5×18.0
63	パコ・ラバヌ	イブニングドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具 でつなぎ合わせたミニドレス	等身大
64	森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と 絹シフォン、絹サテンのベルト	等身大

じろじろ
みてね。

しまね美術鑑賞学習セット
ワークシート・アートカード

監修：奥村高明(聖徳大学児童学部教授)
編集：廣田理紗(島根県立石見美術館)
デザイン：折原 滋(O design)
印刷：日本写真印刷株式会社
発行：島根県立石見美術館 2012年2月

